

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します

2013
No. 561

12



空気澄み 水澄む アワビ口開け

撮影…11月9日・島越地区

主な内容

- 特集・民家に泊めよう …… 3頁
- 教育の日のつどいを開催 …… 8頁
- 冬期間通行止めのお知らせ …… 13頁
- 12月以降の村営工事入札予定 …… 18頁



田野畑道路の起工式開催 進む三陸沿岸道路の整備

田野畑道路の早期完成、工事の安全を願って石原村長（右から4人目）などがくわ入れを行った

三陸沿岸道路「田野畑道路」の起工式が11月7日、浜岩泉地区で開催されました。村や国、工事関係者など約60人が出席。くわ入れなどを行い、工事の安全と早期完成を願いました。

石原弘村長が「この道路は大震災からの復興、新たな時代を築く大きな起爆剤になると期待。道は、産業・医療・福祉・教育・文化などを豊かにし、地域を新生する基幹になるもの。有効に利用できてこそ道。しっかりと地域づくりにつなげていく」とあいさつ。

三陸国道事務所の工藤栄吉所長が「この道路は事業化から2年で着工できた。三陸沿岸道路全体が開通すれば、災害に強い『命の道』となることはもとより、産業や観光など地域の発展に大きく貢献すると期待。早期完成に向け全力で取り組む」と話しました。

田野畑道路は、大芦地区と田野畑地区を結ぶ延長約6キロの自動車専用道路。おおむね8年後の完成を目指して工事が進められます。直線的な道路になることにより、現在の国道45号より約2キロ・6分の短縮。災害発生時の救援物資の輸送、救急医療施設への搬送時間短縮などの効果が期待されます。

11月18日には、尾肝要地区と普代村を結ぶ「尾肝要普代道路」の起工式が普代村内で開催され、延長約8キロの工事が開始。この区間は、約1キロ・8分の短縮。おおむね8年後の完成を目指して工事が進められます。田野畑道路と尾肝要普代道路の着工により、岩手県内の三陸沿岸道路122キロ全線で工事が始まりました。

高台移転団地の名称が決まりました

皆さんから募集していた、高台移転団地の名称が決まりました。これまで、仮称として「①松前沢」「②記念林」「③白池峠」「④黒沢山」と呼んできましたが、今後は次の団地名になります。

- ① 松前沢団地
- ② 羅賀東団地
- ③ 黎明台団地
- ④ 拓洋台団地

松前沢団地は、今年3月に造成工事が完了し、8月には災害公営住宅が完成。羅賀東団地は、10月に造成工事が完了し、来年3月の完成を目指して災害公営住宅の建築を進めています。



災害公営住宅の建築が進む羅賀東団地

民家に泊めよう

特集

中学・高校の教育旅行が大きく様変わりしてきました。単なる「見る」から、五感を使って何かを感じ取る「体験」が主流。核家族化などで希薄になった人間関係を肌で感じられる「民泊」も高い人気です。今回の広報は、村の民泊を取り上げます。（7ページまで）

田野畑村の民泊受け入れの歴史は長い。

都市部の子どもたちを受け入れて農山漁村の生活を体験させる体験型教育旅行。全国でも先進的な取り組みとして、今から約40年前昭和50年に本村の取り組みは始まりました。

「村体験学習受入団体等連絡協議会」を組織し、ホテル羅賀荘と村が二人三脚の取り組み。修学旅行などで村を訪れる中高生など、毎年約7千人の民泊を受け入れていました。

その後、平成14年には民泊受け入れ世帯が30軒程度まで減少。1回の受け入れ人数は1軒当たり7〜8人で、子どもたちに体験させたり監督したりと、高齢化が進んだ家庭では受け入れることが困難になっていました。しかし学校側の希望は、本物の

体験を通して地域と交流できる民泊。受け入れ家庭の新旧交代や充実が不可欠になっていました。そんな状況を解決しようと、20年度に教育旅行の受け入れ体制を再構築。体験村・たのはたネットワーク、陸中たのはた、村が一体となり「体験村・たのはた教育旅行受入協議会」を設立しました。

村を訪れる子どもたちが「生きる力」を身に付ける必要性を悟り、「心の絆」の大切さを考え、農山漁村の真の豊かさを五感で感じられる、田野畑村はそんな場所です。東日本大震災の影響で、23年度と24年度の受け入れは全てキャンセル。そして25年度―。

県内、北海道や神奈川県などから16の学校、約1200人が教育旅行で村を訪れました（11月20日現在）。教育旅行の主流が「見る」から「体験」に変わる中、本村への教育旅行や民泊も増えていくことが予想されます。

■平成20年度以降の受け入れ実績

年度	受け入れ数	うち民泊
20	1校・124人	—
21	4校・182人	3校・41人
22	6校・664人	3校・190人
25	16校・1,258人	2校・142人



今年10月に修学旅行で訪れた向上高校（神奈川県）の民泊受け入れの様子

「見る」から「体験」へ変化する教育旅行
しかし、本当に必要なことは

変わらない、 ありのままの暮らし

今年、教育旅行で本村を訪れた16校。そのうち、2校が民泊を利用しました。

神奈川県の上高1年生124人は10月9日から11日まで、村内でサッパ船アドベンチャーズや津波語り部ガイドなど、さまざまなことを体験。10日午後から11日朝までは村内40軒に分かれて民泊をしました。

浜でコンブを拾ったり、子どもと一緒に遊んだりと各家庭によって体験することもさまざま。サツマイモ掘りや草取りなど、畑仕事にも挑戦していました。

体験とはいっても、それは田野畑に住んでいればごく当たり前のことです。しかし向上高校の生徒たちにとっては、そのどれもが初めてで新鮮な出来事。戸惑いながらも楽しみ、自然と笑顔があふれてい

きます。そして、一緒に作業する受け入れ家庭の皆さんの口元も緩んでいきました。

新潟県などで民泊受け入れ事務局などを務めた経験がある、村政策推進課の渡辺謙克主任主査は「民泊には『〇〇をしてあげなきゃ』という身構えは無用。窓拭きや軽トラツクの洗車など、日常生活の一コマ一コマの中で子どもたちと一緒に汗を流し、苦労や喜びを分かち合うことがコツのようです」と話します。

教育旅行が様変わりしてきた、単なる「見る」から五感と心で感じる「体験」が主流になり、学校が望んでいるといわれる「本物の体験を通して地域と交流できる民泊」。実はあまり難しく考えずに、私たちが普段ここで暮らしているという、そのまゝのことなのかも知れません。

草取りや天井の拭き掃除をしてもらいました 今度は一緒に料理がしたいですね

震災前、平井賀に住んでいるときに2回、民泊を受け入れたことがあります。とても楽しく、自分の孫のように思えました。小学生だったその子も今は高校生。今でも交流が続いています。

今回は家も再建できたし、断る理由もなかったから受け入れることに。夫婦とても楽しみにしていました。

我が家に来てくれたのは、運動部の元気な男の子4人。山から丸太を運んでもらったり、ニワトリの世話をしてもらったりしました。その他に、畑の草取りと家の天井拭き掃除。私たちがやろうと思ってもなかなかできなかったことで、とても助かりました。見るのもやるのも全てが初めてだったようですが、楽しそ

うにやってくれたので私もうれしくなりました。

夕食は、マツタケご飯と芋の子汁、サンマ。「おいしい、おいしい」と食べてくれ、1升のご飯がほぼ空に。家族と一緒に食事することがほとんどないようで、しゃべりながらの食事をうれしそうにしていました。海も山もある田野畑をうらやましがら姿を見て、自然の中で暮らす喜びを私も感じることができました。

お別れ会では、遊びに来た孫が帰っていくような寂しい気分。もう1泊ぐらい泊まっていてほしかったです。

民泊の受け入れはこれからも続けます。次は、男の子でも女の子でも一緒に料理をしたいです。



早野 憲子さん
(64歳・田野畑)



INTERVIEW

民泊受け入れ家庭&利用者に聞きました



少しの不安よりも大きかった民泊への期待 民泊先で見たのは生徒たちの生き生きとした姿

単なる観光地巡りの「旅行」ではなく、現地の人と交流できる「心の旅」となる体験を生徒たちにさせたくて民泊を選択。そして、震災で被災された方々との交流をとおり、これから復興を担っていく生徒たちにさまざまなことを考えてほしいと期待していました。

見ず知らずの人の家に泊まることを「気を遣うから嫌だ」と話す生徒がいたり、少し元気が有り余る生徒もいたりしたため、交流ができるか、迷惑をかけないかという心配もありました。

そんな不安や神奈川県から遠いこともありましたが、それよりも民泊への期待の方が大きかったです。

私は民泊当日、受け入れていただいた

家庭を回りました。そこには、一生懸命に手伝いをしたり、子どもと楽しそうに遊んだりする、生き生きとした生徒たちの姿。民泊をとおり地域の人と交流し、震災の話なども直接聞くことができ、さまざまな考えを持つことにつながったと思います。もう少し交流の時間が長いと、もっと良かったかもしれません。

生徒たちは「普段できない体験ができた」「人の温かさや優しさに触れることができた」「メッチャ楽しかった」「また行きたい」と感想を話しています。

民泊後、クラスの輪が広まり和が深まったと感じます。震災のことも身近に捉え直すことができました。引率した教員全員、気持ちは「来年も田野畑！」です。

いろいろと体験させたい気持ちも正直あるけど 普通のことを喜ぶ姿が見られて安心しました

20年くらい前に3回、平井中学校(東京都日の出町)の民泊を受け入れたことがあります。今回、体験村が受け入れ家庭探しで困っているという話を聞き、私たちが力になればという思いで受け入れることにしました。

事前説明会で衛生面の話がありました。ちょっとだけ食中毒が心配になりましたが、刺身とかの生ものではなく火を通した物を出すことで対応。心配するほどのことはありませんでした。

受け入れたのは、おとなしい女の子3人。最初、我が家の「ぼっとんトイレ」を見たときは固まっていたね。大量のカメムシにも驚いていました。

ちょうど枝豆の収穫時期だったので、

枝豆と一緒に収穫。採れたてゆでたの味に「おいしい」と笑顔を見せてくれました。ヤマブドウを房から取り外す作業もやりましたが、「こうやれば早くできる」と工夫しながらやってくれました。

楽しむ姿を見て「田野畑の子も都会の子も同じ。やってみないと分からないことがある」と私たちも気付きました。

「引き受けたのはいいけど、この程度で申し訳ない」「せつかくだからもっと体験させたい」という気持ちは正直あります。1泊2日、しかも1日目の午後から次の日の朝食までの短い時間だったため、あまり会話もできませんでした。

それでも3人の喜ぶ姿が見られたので、これで良かったのかなと安心しています。



大塚 花織 教諭
(学校法人向上学園向上高校)



金子 信一さん・すみさん
(65歳・58歳・沼袋)

時間がかかったとしても「一歩ずつ一歩ずつ」 民泊や体験学習を村全体に広げたい

民泊の受け入れが初めての家庭では「どのように歓迎しようか」「何をやらせようか」と考えてしまうことが多いようです。でも、なるべく特別扱いはしないでください。民泊を希望する学校も、特別扱いを望んではいません。お客さんではなく自分の子どもや孫だと思って接してください。

「来てくれてありがとう」という気持ちはもちろん大切。でも、特別ではなく普段どおりの生活を心掛けてほしいです。野菜を収穫して一緒に料理をして食べる、そんな田野畑村では当たり前のことが、村を訪れる子どもたちにはとても貴重な経験になります。

来年以降、民泊や体験学習で村を訪れる学校はもっと増えると予想しています。

現在、民泊の登録をいただいている家庭は約80軒。実際に受け入れるときにはそれぞれの都合もあり、受け入れ可能な家庭が6割ぐらいになります。これは本村だけでなく、久慈市などでも同じ状況だということです。

民泊を今後も受け入れていくためには、一度に200人程度の受け入れができる体制づくりが不可欠。そのためには受け入れ家庭を増やすことが必要です。震災前に受け入れてくれていた家庭にも、家を再建して精神的・経済的に落ち着いたら、また協力していただけたらうれしいです。

物事は継続することが一番大切。時間はかかるかもしれませんが、一歩ずつ一歩ずつ、民泊や体験学習の受け入れを村全体に広げていきたいと思っています。



NPO法人
体験村・たのはたネットワーク
道合 勇一 理事長

「体験村・たのはた」では民泊受け入れ家庭を募集しています

- ◆家庭…農林漁家、一般会社員、公務員など、なりわいや職業は問いません
 - ◆内容…特別なことではなく、草取りや料理など、普段の日常を一緒に過ごす
 - ◆日数…1回につき1泊2日程度
 - ◆謝礼金…子ども1人当たり6千円程度
 - ◆人数…1回につき3人程度
 - ◆申し込み・問い合わせ先…NPO法人 体験村・たのはたネットワーク (☎37-1211)
- (性別などは希望に応じます)



金子信一さんの居間には、生徒から感謝を込めて送られたヤマブドウと枝豆のイラスト付き色紙が大切に飾られている



お世話になった家庭にお礼の色紙を手渡す向上高校の生徒。別れには笑顔、そして涙があふれる

も続けていきたいですね。だって、めんこい孫のようなもの。都会の子と話して、この良さをあらためて感じることもあるんですよ」と話します。

訪れてくれる人たちに田野畑の良さを知ってもらうため、自分が田野畑の素晴らしさに気付くため、皆さんも民家に泊めてみませんか。(特集終わり)

でも、受け入れには特別な体験やおもてなしは必要ありません。村を訪れる子どもたちにとっては、草取りや料理、会話をしながら一緒に食事を取ることなど、皆さんのいつもどおり普段どおりの生活の中で人と人とのふれあいをすることが、とても貴重な経験になります。

もちろん、受け入れる皆さんにとっても貴重な体験になるでしょう。今年、向上高校の民泊を受け入れた早野憲子さんは「これから

中断していた教育旅行や民泊の受け入れが本年度再スタート。村内の民泊受け入れ家庭は現在、漁家や農家を中心に約80軒。体験村・たのはたの道合理事長は「皆さんの協力がありがたい。さらに受け入れ家庭を少しずつ増やしていきたい」と話します。

来年度も本村には、東京都、神奈川県、北海道から中高生が訪れる予定です。11月20日現在で7校から約700人。この数は、これからさらに増える見込みです。

皆さんの中には、村内で民泊を受け入れていることは知っていたり興味を持っていたりしても「大変そう」「何を体験させたらいいかわからない」などと思っている人がたくさんいるのではないのでしょうか。



弥五兵衛太鼓でオープニング

オープニングを飾ったのは、田野畑小学校浜岩泉地区の児童たちによる弥五兵衛太鼓。「スピリッツ」など2曲を力強く演奏し、大会の幕を開けてくれました。

表彰式では、多年にわたり教育振興運動に功績のあった皆さんに功労賞、栄誉賞を授与。功労賞を受賞した菅窪鹿踊保存会の小松山裕司さんは「これまで私に踊りを指導してくださった諸先輩方、地域のご支援ご協力のおかげで受賞この受賞を励みに、これからも村の発展や後継者育成につなげられるように活動していきたい」と喜びを話していました。

推進事例発表では、沼袋地区推進委員会の藤島泰一さんが甲地剣舞伝承活動や夏休み親子キャンプの取り組みなどを紹介。「今後は、これまでの活動を継続しながら、子どもたちと地域住民が接する機会を増やしていきたい」とさらなる活動の充実を誓っていました。

子どもたちと一緒に村の未来を考える「復興子ども会議」も開催。小中学生が今、自分たちにできることなどを発表し、村の将来を考えました(9〜11ページに掲載)。

講演会では、NPO青少年メディア研究協会講師の下田真理子さんが、ネット時代の保護者の役割として、携帯電話などを「持たせない選択」「持たせる覚悟」が必要であることを訴えました。

本村の教育振興運動は昭和40年に始まり、49年を迎える歴史ある運動。この間、中学校や小学校の統合など、さまざまな教育環境の変化にも対応しながら活動を推進してきました。つどいの参加者は、講演や事例発表などとおして運動の成果を確認しながら、教育振興について理解を深めました。



表彰を受ける田河原篤史君

150人が参加。教育の日のつどい

教育振興運動の成果を確認

「第2回田野畑村教育の日のつどい」を11月2日、アズビィホールで開催しました。小中学生やPTA会員、学校教職員など約150人が参加。教育振興運動の成果や課題などを確認しました。

子どもたちが考える村の未来 復興子ども会議

中学生が思い描く村の未来

▼田野畑村に必要なこと

「村に元気を発信しよう」「復興に関わる学習を深める」という視点で進めてきた行事や学習。久慈市長や葛巻町長の話を聞いたとき共通していたのは、「町で何を特徴としたいか」「力を入れていくこと」がはっきりしていて、「これから何をしたいか」「何をしたいか」が分かりやすいこと。そして、住民が一つになって同じ方向に進んでいるということ。これは私たちの村が復興、そして飛躍するためにも大切なことです。さまざまな学習を基に、中学校生徒会が考えた「田野畑村に必要なこと」は大きく二つ。一つはクリーン

エネルギー事業への参加。もう一つは通信網の整備です。

1 クリーンエネルギー事業への参加
整備に掛かったお金が回収できる見込みがあれば、借金してでも造ったほうが良いと思います。村の地形などを考えれば、小中学校に設置されている施設の増設、風力発電施設の整備が有効的。弱い波でも発電できるように研究が進む波力発電も検討してほしいです。

2 通信網の整備
パソコンやスマートフォンなどの機械が発達し、連絡手段や買い物に利用されている現在。他市町村では高齢者の健康状態を知るためにインターネットを利用したり、議会の様子をテレビで流したりしています。これから村に住む人、住み続ける人のことを考えれば防災行政無線はもちろん、光ファイバーや携帯電話など通信網の整備が必ず必要です。

▼まとめ
中学校は本年度、一人一人の夢はどんなものかと考えながら学習や行事、部活動に取り組んできました。今回の復興子ども会議が、皆さんが夢を描く一つのきっかけになれば幸いです。田野畑村の夢がどんな形になるのか。大人も子どもも、描いた夢が現実となるように交流を深めていきましょう。

復興子ども会議の司会を務めたり考えを発表したりした田野畑中の3年生
左から三浦基誠君、小野諒太君、和山大聖くん、長久保航輔君、大澤東華さん、平坂奏詠さん



■平成25年度村教育振興運動表彰受賞者の皆さん

【栄誉賞・個人】



田河原 篤史くん
島越・田野畑小6年

下閉伊北部地区小学校陸上記録会において、2度の新記録を樹立した。
【5年生】男子400mリレー 記録56秒0
【6年生】ソフトボール投げ 記録63m14

【功労賞・個人】



上山 靖さん
田野畑・50歳

長年にわたり小中学校や村PTA連合会の役員などを務め、青少年健全育成と家庭・学校・地域の連携に尽力。24年度は県PTA連合会副会長として、県全体の活動の充実に寄与した。

【功労賞・個人】



小松山 裕司さん
田野畑・30歳

菅窪鹿踊保存会の一員として、県内外での公演活動に参加。長年にわたり菅窪鹿踊の指導に積極的に取り組み、伝統芸能の伝承活動を通して児童の健全育成に貢献している。

〈机地区〉

★机地区にあつたらいいな

病院、映画館、運動場、机浜番屋群、コンビニ

★地区や村に望むこと

元気で明るい、自然が豊かな、たくさんの観光客が来て活気ある地区。農業や漁業が盛んな、自然豊かな元気で明るい村。

★願いに近づくために行った活動

自然を豊かにするために、森林愛護活動を行った。中学生になっても続けたい。

★地区で取り組んでいきたいこと

地域の人に自然の大切さを知ってもらうために森林愛護活動を続ける。ごみ拾いをする。

北田拓毅くん(6年)



平坂智哉くん(6年)

〈島越地区〉

★島越地区にあつたらいいな

プール、公園、家、生活に役立つ店、島越駅

★地区や村に望むこと

明るく元気な、安全で平和な、優しい地区。明るく元気な村。

★願いに近づくために行った活動

2年振りに復活した島越大神宮祭で、中学生と一緒によさこいソーランを踊った。

★地区で取り組んでいきたいこと

ごみ拾いや花植えを今年以上に頑張る。地域の人たちを明るく元気にするために、よさこいソーランを続けていく。

工藤茂喜くん(6年)



工藤長己くん(6年)

地区や村に望むことーを紹介。その願いに近づくために行った今年の活動、これから地区で取り組んでいきたいことを発表しました。さまざま意見が出された地区ごとの発表後には、「便利だけど、自然豊かな」「明るく元気で、笑顔あふれる」「農業や漁業が盛んな」「みんなが助け合って、みんなが住みやすい」そんな田野畑村になつてほしいとまとめました。登壇した12人全員が「大好き！田野畑」と元気な声で締めくくると、会場は大きな拍手に包まれました。

〈浜岩泉地区〉

★浜岩泉地区にあつたらいいな

街灯、公園、温泉、コンビニ、大震災の石碑

★地区や村に望むこと

みんな優しい明るく元気な地区。みんなで助け合って暮らせる村。

★願いに近づくために行った活動

地区のお祭りや運動会、復興祈念祭で弥五兵衛太鼓を演奏した。

★地区で取り組んでいきたいこと

地域をきれいにするためにごみ拾い。地域の人を明るくするために弥五兵衛太鼓を続けたい。

佐々木綾音さん(6年)



熊谷美優さん(6年)



石原村長、岩手復興局の菊池参事官補佐と意見交換

小学生が思い描く 村の未来

小学生は六つの地区からそれぞれ代表者2人が登壇しました。昨年の復興子ども会議で発表した、▼自分が住む地区にほしいもの▼



小学生はこのスライドで締めくくった

〈羅賀地区〉

★羅賀地区にあつたらいいな

電灯、高い防波堤、商店街、交番、津波の石碑

★地区や村に望むこと

明るく活気あふれる、伝統を大切にする地区。人口が多い、事故がない、ごみが落ちていない、みんなが住みやすい村。

★願いに近づくために行った活動

羅賀みなとまつりや学習発表会で大宮神楽を踊った。

★地区で取り組んでいきたいこと

大宮神楽発表の場を増やす。地域が明るくなるために、いろいろな花を植えたい。

畠山将太くん(6年)



工藤紘聖くん(6年)

〈田野畑地区〉

★田野畑地区にあつたらいいな

プール、温泉、公園、商店街、時計

★地区や村に望むこと

森がいっぱいある地区。みんなが明るい村。

★願いに近づくために行った活動

みんなが明るくなるために、学習発表会で菅窪鹿踊を心一つにして踊った。

★地区で取り組んでいきたいこと

菅窪鹿踊発表の場を増やしたい。地区の皆さんと一緒に、花植えやごみ拾いをしたり、伝統的なお菓子を作ったりしたい。

小澤佳乃さん(6年)



工藤文斗くん(6年)

〈沼袋地区〉

★沼袋地区にあつたらいいな

キャンプ場、公園、街灯、時計、商店

★地区や村に望むこと

自然が豊かな、にぎやかで人が集まる地区。優しく元気、明るく笑顔あふれる村。

★願いに近づくために行った活動

明るく笑顔あふれるために、牛乳まつりと運動会で甲地剣舞を最後まで踊りきった。

★地区で取り組んでいきたいこと

たくさんの人を笑顔にするために甲地剣舞を頑張る。ごみ拾いで自分たちの地区をきれい にしたい。

畠山苑巳さん(6年)



藤島蒼くん(6年)

河川環境おおむね

良好

村は毎年、村内河川の水質調査を実施しています。今年も10月14日、6河川12カ所から河川の水を調査しました。

調査の結果、ほとんどの項目で環境基準の最高ランク（AA類型）の基準を満たしていました。生物化学的酸素要求量（BOD）と大腸菌群数でAA類型を下回る地点がありました。昨年度の調査結果より改善。おおむね良好な水質が保たれていることが分かりました。

河川の水質は、周辺の環境や季節によっても大きく変動します。また、皆さんが日ごろ何気なく流している生活雑排水の影響も受けます。みそ汁の残りや油などを流さないこと、お風呂の残り湯で洗濯をして排水量を減らすなど、ちょっとした気配りが河川の水質を良好に保つことにつながります。

これからも、みんなできれいな川を守りましょう。

◆問い合わせ先：生活環境課（☎34-2114 内線21）

■平成25年度河川水質調査結果

河川名	採水地点	pH	Do mg/l	BOD mg/l	SS mg/l	大腸菌群数 MPN/100ml
普代川	巢合中の橋付近	6.9	10.4	0.5未満	1	110
	青雲橋付近	7.2	10.1	0.8	3	140
平井賀川	砂防ダム付近	7.0	10.6	0.5未満	1未満	6.8
	水門から約100m上流	6.9	10.6	0.5未満	1未満	79
松前川	松前沢橋付近	7.0	10.4	1.8	1	17
	水門から約300m上流	7.0	10.3	1.2	1未満	17
	鉄山口バス停付近	7.1	10.4	0.7	1未満	17
	タタラ橋付近	7.2	10.3	0.9	1	17
島の沢川	清流橋付近	7.1	10.6	1.4	1未満	49
	北沢と南沢の合流点	6.9	10.0	0.5未満	1未満	7.8
白池川	河口から約1km上流	6.9	10.5	0.5未満	1未満	79
田代川	普代川との合流点	7.1	10.2	1.1	2	220
県環境基準（AA類型）		6.5~8.5	7.5以上	1以下	25以下	50以下

- ◆水素イオン濃度（pH）…水質の酸性・アルカリ性の状態を示す指標。pH7.0が中性で、これより低いと酸性、高いとアルカリ性を示す
- ◆溶存酸素量（DO）…水中に溶解している酸素の量を示す。魚介類が生息するためには、一定以上の溶存酸素量が必要
- ◆生物化学的酸素要求量（BOD）…微生物が有機物を分解した際に消費される酸素量で、河川の有機汚濁を測る指標。有機汚濁物質が多いほど数値が高い
- ◆浮遊物質（SS）…濁りの原因となる有機物やプランクトン、生活排水中の微細な物質の濃度を示す指標
- ◆大腸菌群数…し尿による汚染の程度などを示す指標

インフルエンザ予防のため 予防接種をお早めに

村診療所は11月1日からインフルエンザの予防接種を実施します。村内に住所がある人が村診療所で接種を受ける場合の接種料は無料。早めの接種を心掛け、感染予防を心掛けましょう。

11月20日現在、村診療所での接種状況は左表のとおりです。1歳以上の対象者3702人に対し、接種者は748人。接種率はわずかに20・2%にとどまっています。インフルエンザワクチンは、効

■村診療所での接種者数（11月20日現在）

区分	接種済	対象者	割合
幼児	46人	147人	31.3%
小学生	44人	162人	27.2%
中学生	17人	76人	22.4%
高校生	19人	117人	16.2%
一般	234人	1,919人	12.2%
65歳以上	388人	1,281人	30.3%
計	748人	3,702人	20.2%

- 果が出るまでに約2週間必要（個人差があります）。流行してから受けても間に合いません。いつ流行するか分からないインフルエンザを予防するには、早めに予防接種を受けることが大切です。一人一人の心掛けで、感染や拡大を防ぎましょう。
- ◆実施期間：平成26年1月31日まで（水曜日午後、土日祝日、年末年始を除く）
 - ◆対象：満1歳以上の村民
 - ◆接種料：無料
 - ◆受付時間
 - 高校生以下：午後4時～4時30分（月・木・金曜日のみ）
 - 一般：午前9時～11時30分、午後2時30分～4時
 - ◆持ち物：予診票、高校生以下は母子健康手帳、予防接種手帳（65歳以上で持っている人）
 - ◆その他：村診療所以外の接種希望者は事前に担当課に連絡してください（助成があります）
 - ◆問い合わせ先：保健福祉課（☎33-13102）

理解と協力を
お願いいたします

冬期間通行止め

冬を迎え、降雪による道路の除雪作業が本格化します。また、冬期間利用の少ない路線などの除雪を見送り、積雪時から3月下旬まで通行止めとします（左表）。

- ①深夜や早朝の作業に理解をお願いします
- ②各家庭の玄関前の除雪に協力ください

- ③道路への雪出しは危険なのでやめてください
- ④路上駐車は除雪の妨げになるのでやめてください
- ⑤路面状況に十分注意して走行してください

◆問い合わせ先：建設第一課（☎34-12113 内線59）、岩泉土木センター（☎22-13116）、三陸国道事務所久慈維持出張所（☎0194-5312790）

■除雪しない（通行止め）路線と区間

路線名	区間など
村道和田野平賀線	大澤宏さん宅付近～村道釜谷ノ沢線交差点
明戸北山線	明戸～村道机西線交差点
	林道七ツ森線入口～普代村境
久春内線	村道明戸北山線交差点～県道交差点
白坂線	切牛簡易水道浄水場～猿山（県道）
切牛線	漁協倉庫～菅原神社
田代線	田代の沢砂防ダム～田代年々峠（岩泉町境）
萩牛線	村道沼袋田代線交差点～村道田代萩牛線交差点（全線）
長内沢線	下閉伊生コン～上流
高森線	テレビ中継所（全線）
北山港線	県道～北山漁港（全線）
大平線	佐々木ミワさん宅～佐々木仁さん宅
松前沢線	村道鉄山線交差点～農免農道浜岩泉線交差点
釜谷ノ沢線	旧県道（全線）
和野線	三上哲雄さん宅～三上昭雄さん宅
田野畑明戸線	三田地錦光さん宅～坂下達男さん宅
島越浜岩泉線	村道鉄山線交差点～村道浜岩泉北線交差点
沼袋三沢線	佐々木安吉さん宅～三沢峠（岩泉町境）
大芦北線	国道45号交差点～農免農道浜岩泉線（全線）
切牛真木沢線	切牛～真木沢（砂利道区間）
真木沢港線	全線
農免農道浜岩泉線	浜岩泉専用水道配水池～和山吉治さん宅



11月7日、平井中卒業生から届けられた寄付金を村農村青年クラブの畠山会長が村長に手渡し



大好評の村特産物。多くの人々が訪れて目当ての品を次々と購入

村特産物が日の出町で大好評

東京都日の出町で11月2、3の両日、「日の出町産業まつり」が開催されました。まつりには本村の農村青年クラブも参加。村の乳製品、野菜などを販売しました。過去に村を修学旅行で訪れていた平井中の卒業生や職員も販売を応援。訪れた人はリンゴや塩蔵ワカメなどを次々と買い求めていました。会場には平井中第47期卒業生の皆さんから温かい寄付も届けられました。寄付は11月7日、農村青年クラブの畠山敏会長が役場を訪れ、石原村長に手渡しました。

秋深まる甲地でウォーキング

第4回溪流紅葉ウォーキング（体験村・たのはた主催）が11月3日に開催されました。盛岡市や村内などから参加した約30人は、三沢地区から甲地公民館まで約4kmを2時間かけてウォーキング。心地よい秋晴れの下、紅葉や溪流を見ながら歩いたり、きれいな落ち葉を拾ったりしながら田野畑の秋を感じていました。家族5人で参加した三ヶ森善智さん(50)＝野田村＝は「新聞を見て参加。景色がきれいで、ガイドの話も楽しかった」と笑顔を見せていました。



色付く木々や溪流の流れを楽しみながら歩く参加者

五輪選手と運動で笑顔と歓声

オリンピックデー・フェスタin田野畑（日本オリンピック委員会主催）が11月9日、アズビオ体育館で開催されました。幼児から大人まで約60人が参加。3チームに分かれて、しっぽ取り競争や大玉転がしなど4つの競技で勝敗を競いました。各チームのキャプテンはオリンピックに出場した選手たち。会場には6人の選手と笑顔で話す姿や歓声があふれていました。新体操の田中琴乃選手は「スポーツから生まれる温かい笑顔を広げていきたい」と話していました。



ロンドン五輪のボクシング競技銅メダリストの清水聡選手も参加

男性挑戦。鍋焼きうどん作り

男性を対象にした料理教室が11月13日、保健センターで開催されました。参加した約10人は三角巾とエプロンをまとい、これからの季節にぴったりの鍋焼きうどん作りに挑戦。村食生活改善推進員の指導を受けながら、うどんを打ったり野菜などを切ったりしていました。約1時間半で鍋焼きうどんは完成。青森県藤崎町から派遣職員として役場で勤務する工藤真也さん(29)は「久々の料理で初めての手打ちうどんだが、おいしくできた」と満足げな表情でした。



真剣な表情でゆで卵の飾り切りに挑戦する工藤さん



畠山俊信支部長から畠山務理事長に目録が手渡された

法人会田野畑支部から車いす

宮古法人会田野畑支部（畠山俊信支部長）が11月14日、特別養護老人ホーム寿生苑を訪れて車いす20台を贈りました。これは、同会が続けている「社会貢献事業」の一環。畠山支部長が寿生会の畠山務理事長に目録を手渡しました。畠山理事長は「この施設には、車いすがなければ移動できない利用者もいる。古くなくても更新できずにいたので大変ありがたい。大切に使用させていただく」と感謝。施設利用者はさっそく新しい車いすの乗り心地を確認していました。

漫才と歌声で笑い感動の涙

テレビ番組の収録で本村を訪れていた宮川大助・花子さんの漫才ミニライブが11月16日、アズビオホールで開催されました。約200人の観客は2人の漫才で大笑い。トークと歌声には感動し、約1時間のライブ中、会場には笑い感動の涙があふれました。花子さんは「一歩進めば一歩ゴールに近づける。自分のゴールを目指してほしい。そして周りの人も助けられるよう、もう一歩踏み出して」とエールを送ってくれました。
◆放送予定…1月16日(木) 午後7時30分～7時59分
NHKBSプレミアム「きらり!えん旅」



ライブの最後は大助さん・花子さんら出演者全員で歌声を響かせた

お知らせ

人口と世帯	火災
11月1日現在()は前月比	(10月22日～11月20日)
人口 3,751人(-1)	火災の【今月】 0件
男 1,850人(-1)	発件数【今年】 1件
女 1,901人(±0)	無火災の連続記録
世帯 1,433世帯(±0)	(11月20日現在) 255日

出稼ぎ者の健康診断を実施

村は、出稼ぎ者を対象とした健康診断を実施します。正月で帰省する人は、ぜひ受診してください。

- ◆期日…12月27日(金)
- ◆受付時間…午前11時～11時30分(厳守してください)
- ◆場所…村診療所
- ◆対象…出稼ぎ手帳所持者
- ◆負担額…4,670円(受診料13,590円のうち8,920円を助成)
- ◆申込期限…12月25日(木) 午後5時30分
- ◆申し込み・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

村の震災支援ご利用ください

- ◆住宅再建…村内に自宅を建築か購入。複数世帯100万円、単数世帯75万円
- ◆被災住宅修築…被災住宅の修繕など。大規模半壊20万円、半壊5万円
- ◆新規住宅債務…利子相当額の助成。上限300万円
- ◆移転費用…村内に居住する世帯。複数世帯20万円、単数世帯15万円
- ◆浄化槽設置…加算補助。5人槽29万8千円以内、7人槽45万9千円以内
- ◆汚水公共ます等…給水・下水道等区域内の、汚水公共ます、2戸以上の接続が見込める公共用地内の上下水道管の敷設を村直営工事で整備
- ◆災害公営住宅家賃…入居日から3年間、家賃を3割減額。上限1万円
- ◆問い合わせ先…復興対策課(☎34-2111 内線68)

住宅の再建を支援します

大震災で被災した住宅を新築や改修する場合、次のような補助を受けることができます。

- ◆対象…新築・購入
 - ①バリアフリー
 - 床面積75㎡未満…40万円
 - 75㎡～120㎡未満…60万円
 - 120㎡以上…90万円
 - ②県産材使用
 - 使用料10㎡以上…20万円
 - 20㎡以上…30万円
 - 30㎡以上…40万円
- ◆期間…平成28年度まで
- ◆問い合わせ先…復興対策課(☎34-2111 内線67)

住まいの復興給付金制度

平成26年4月1日から、消費税率が8パーセントに引き上げられます。

- 大震災で被災した住宅を新たに建築や購入する場合、引き渡しを受けるのが26年4月1日以降であれば、8パーセントの消費税率が適用されます。「住まいの復興給付金制度」は、消費税率の引き上げに伴う負担増加分を支援する制度です。詳しい内容は問い合わせください。
- ◆問い合わせ先…住まいの復興給付金準備事務局コールセンター(☎0570-200-246)

広報に求人情報を載せませんか

- 広報たのはたに、村内企業などの求人情報を掲載しませんか。掲載は無料。詳しい内容は担当課に問い合わせください。
- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線62)

路面凍結などに気を付けて

12月1日から10日まで、冬の交通事故防止県民運動を展開します。積雪や凍結で路面状況が悪化する季節。ゆとりを持った行動を心掛け、交通事故を防止しましょう。年末年始は飲酒の機会が増えます。飲酒運転は絶対にやめましょう。

- ◆冬の安全運転(いちにっさん)運動
 - ①一割スピードダウンしよう
 - ②二倍の車間距離をとろう
 - ③三分早めに出発しよう
- ◆飲酒運転4(し)ない運動
 - ①運転するなら酒を飲まない
 - ②運転者に酒を提供しない
 - ③飲酒者に車を提供しない
 - ④飲酒者の車に同乗しない
- ◆問い合わせ先…総務課(☎34-2111 内線15)

診療所年末年始のお知らせ

- 村診療所は年末年始、次の日程で休診します。
- ◆休診日…12月21日(土)、12月29日(日)～平成26年1月5日(日)
- ◆その他…12月28日(土)の午前中は診察します
- ◆問い合わせ先…診療所(☎33-3101)

自衛隊高等工科生徒を募集

- ◆種目…陸上自衛隊・高等工科学校生徒
- ◆受験資格…17歳未満で中卒(卒業見込み含む)の男子
- ◆受付期限…平成26年1月10日(金)
- ◆試験日…1月18日(土)
- ◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

アズビィ図書室の年末年始

- アズビィ図書室は年末年始、次の日程で休室します。
- ◆休室日…12月28日(土)～平成26年1月5日(日)
- ◆その他…従来は月曜日が休室ですが、6日(月)は開室します
- ◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

資料館年末年始のお知らせ

- 村民俗資料館は年末年始、次の日程で休館します。
- ◆休館日…12月28日(土)～平成26年1月4日(土)、1月6日(月)
- ◆その他…1月5日(日)は開館
- ◆問い合わせ先…民俗資料館(☎33-2210)

住宅の耐震化費用を助成中

- 村は、住宅の耐震診断・改修の費用を助成しています。耐震基準が変わった昭和56年以前に建てた住宅は、地震に対して弱い危険があります。まずは専門家による耐震診断を受けましょう。診断して地震に弱いことが分かったときは耐震改修をしてください。尊い命や財産を守るため、地震対策を進めましょう。
- ◆対象…昭和56年5月31日以前に建築した木造住宅
- ◆助成額
 - ①耐震診断…1棟当たりの診断費3万円のうち2万7千円を助成(本人負担3千円)
 - ②耐震改修…1棟当たり最大で60万円を助成(改修内容で異なります)
- ◆申し込み・問い合わせ先…建設第二課(☎34-2113 内線47)

くらしのなんでも相談会を開催

- 仕事、お金、病気、人間関係や法律など生活の困りごとに無料でお答えします。村外の専門家が対応し、秘密は守られますので、安心してご相談ください。
- ◆日時…12月19日(木) 午前10時～正午
- ◆場所…村保健センター
- ◆申込期限…12月18日(水)
- ※申し込まなくても相談できますが、申込者優先となります
- ◆申し込み・問い合わせ先…あすからのくらし相談室・宮古(☎0193-64-2400)、保健福祉課(☎33-3102)

災害対応のてびきを配布

- 県では、障がい者が災害時に命を守るための備えや避難所での生活などをまとめた「災害対応のてびき」を配布しています。てびきには、自分の情報や手助けしてほしいことを書いておくことができる「お願いカード」も添付されています。災害への備えに活用しましょう。
- ◆対象…障害者手帳所持者で、手引きが届いていない人
- ◆申し込み・問い合わせ先…県障がい者保健福祉課(☎019-629-5448)、保健福祉課(☎33-3102)

12月の無料法律相談

- ◆期日…5日(木)、12日(木)、19日(木)、21日(土)、26日(日)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所
- ◆申し込み先…宮古市市民相談室(☎0193-62-2111)

道の駅スタンプラリーを開催

- 岩手県「道の駅」連絡会は、『第10回岩手「道の駅」い～はと～ぶスタンプラリー』を開催します。抽選ですてきな賞品が当たりますので、ぜひ参加してください。
- ◆実施期間…平成26年4月6日(日)まで
- ◆内容…県内30カ所の道の駅が対象。道の駅でスタンプを押印して応募してください
- ◆賞品
 - ①いわって大賞…20駅以上制覇。抽選で10人に8千円相当の県内特産品
 - ②つめちゃったで賞…10駅以上制覇。抽選で15人に5千円相当の県内特産品
 - ③馬かったで賞…5駅以上制覇。抽選で90人に県内道の駅の特産品
 - ④第10回記念賞…3駅以上制覇。抽選で300人にオリジナルQUOカード
 - ⑤完走証明書…30駅制覇
- ◆問い合わせ先…国土交通省岩手河川国道事務所調査第二課(☎019-624-3196)

電話帳を配達・回収します

- NTT東日本では、12月中旬に新しい電話帳を各家庭や事業所にお届けします。その際、現在使用している電話帳を回収しますので、配達員に渡してください。不在などの場合、後日あらためて回収に伺いますので、タウンページセンタにご連絡ください。地球環境保護のため、リサイクルに協力をお願いします。
- ◆問い合わせ先…タウンページセンタ(☎0120-506309)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課(12月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 整備が進められている三陸沿岸道路。工事の安全と早期完成を願って11月7日に起工式が行われたのは？

- A) 尾肝要普代道路
- B) 田野畑道路

Q2 11月2日に開催した教育の日の集い。復興子ども会議で小学生が締めくくった言葉は何？

- A) 「大好き！田野畑」
- B) 「頑張ろう！田野畑」

■前号(11月号)の正解 Q1→B

■当選者(敬称略)

- A) 松安知行サイン色紙
三上煌陽(浜岩泉)
佐々木優斗(甲地)
- B) 小田代直子サイン色紙
熊谷正初(田野畑)
佐藤福松(甲地)
- C) アンダーエイジサイン色紙
佐々木みどり(菅窪)
上山明美(田野畑)
- D) 大沢桃子サイン色紙
熊谷キヨ(沼袋)
鎌形タヨ(田野畑)

おめでた おくやみ

[平成25年10月届け出分]
(一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
成田 縁 (ゆかり) ちゃん
広一・明子 菅窪

♥未永く ～結婚～
奥地 卓也 菅窪♥菅窪
山口 裕恵子 釜石市

■安らかに ～お悔やみ～
工 藤 司 (59) 島越

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出て下さい

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

3125万7,904円 (11月20日現在)

511件 (村内106件、県内142件、県外263件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課 (☎34-2111 内線15) までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：12月1日(日)～1月6日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
12月1日(日)	村歳末たすけあい演芸会	アズビィホール	10:00～12:00	村社会福祉協議会 (☎33-3025)
2日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館 (毎週月曜日・16日まで)	19:30～21:00	教育委員会
	国民健康保険税6期納期限			税務会計課 (内線31)
3日(火)	乳がん・子宮がん検診	アズビィホール	9:30～10:30	保健福祉課
	行政相談	役場談話室	10:00～15:00	総務課 (内線13)
4日(水)	特設人権相談	役場第一会議室	10:00～15:00	生活環境課 (内線21)
	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビィ体育館 (毎週水曜日・18日まで)	20:00～21:00	教育委員会
18日(水)	幼児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
21日(土)	診療所休診			診療所
24日(火)	巡回健康相談	浜岩泉地区公民館	10:00～11:30	保健福祉課
25日(水)	固定資産税3期・国民健康保険税7期納期限			税務会計課 (内線31・34)
	介護保険料7期・後期高齢者医療保険料6期納期限			生活環境課 (内線22・23)
27日(金)	出稼ぎ者健康診断	診療所	11:00～11:30	生活環境課 (内線25)
	仕事納め	役場は12月28日から1月5日まで閉庁します。各種手続きなどは早めに済ませてください。		
1月6日(月)	仕事始め	※診療所は12月28日の午前中まで診察します		

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：12月18日(水)～19日(木)

◆はまぎくコース (机・北山方面)

月日	場所	時間
12月18日(水)	グループホームつくえ付近 北山地区総合センター	9:40～10:00 10:10～10:25

◆たんぼぼコース (真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
12月18日(水)	佐藤進氏宅付近 望洋館	11:05～11:20 11:30～11:45

◆おきなぐさコース (沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
12月19日(木)	産直プラザ尾肝要 山栄会リアス倶楽部付近 甲地公民館	9:45～10:00 10:10～10:40 10:50～11:05



◆問い合わせ先…教育委員会 (☎34-2226)

平成25年度12月以降の村営工事の入札執行予定を公表

こんな工事を予定しています

平成25年度村営建設工事の入札執行予定を告示しました。入札および契約方法は指名競争入札です(ただし、No.17と18は指名または公募型競争入札)。詳しいことは、建設第一課 (☎34-2113 内線55) に問い合わせてください。

No.	工事名	場所	期間	種別	工事概要	入札予定
1	村道海鳴台線漁業集落道整備(道路改良)工事	和野	120日間	土木工事	漁業集落道 L=200m	12月
2	村道海鳴台線漁業集落道整備(橋梁下部工)工事	和野	120日間	土木工事	橋梁下部工 N=2基	12月
3	災害用発電設備設置工事	村内	120日間	機械設置工事	発電機設置工事	12月
4	島越漁港地区水産飲雑用水施設(切牛浄水系)浄水棟・浄水施設新設工事	切牛	120日間	水道施設工事	浄水施設(急速ろ過)、浄水棟 1式	12月
5	羅賀地区消防防災センター復旧工事	羅賀	120日間	建築工事	鉄骨造2階建 196㎡	12月
6	平井賀漁港地区水産飲雑用水施設(羅賀浄水系)浄水棟・浄水施設新設工事	明戸	120日間	水道施設工事	浄水場、浄水棟、浄水施設 1式	12月
7	羅賀地区集落排水施設上川原浄化槽整備工事	羅賀	120日間	土木工事	浄化槽1基等	12月
8	島越地区コミュニティセンター建設工事	島越	90日間	建築工事	建築400㎡弱 鉄骨平屋	12月
9	島越駅前広場(その2)工事	松前沢	100日間	土木工事	川向線盛土 L=660m 周辺盛土等	12月
10	村道平井賀港線外1路線 漁業集落道整備工事	和野	120日間	土木工事	法面工 A=3,600㎡	12月
11	災害公営住宅買取事業(島越地区切牛)	切牛	120日間	建築工事	公営住宅建設 23棟	12月
12	明戸地区まちづくり連携道路改良工事	明戸	90日間	土木工事	田野畑明戸線 L=690m	1月
13	羅賀地区集落排水施設海鳴台浄化槽整備工事	和野	90日間	土木工事	浄化槽1基等	1月
14	旧保育所(沼袋・机)解体工事	沼袋・机	90日間	建築工事	建物解体・処分	1月
15	水産荷捌施設整備工事	島越	90日間	建築工事	魚市場建設 1棟	1月
16	明戸地区まちづくり連携道路舗装改良工事	明戸	90日間	舗装工事	長内沢線・田野畑明戸線 L=1,020m	1月
17	23災第262号机漁港 沖防波堤災害復旧工事	机	90日間	土木工事	堤体工 L=72.3m	1月
18	23災第663号平井賀漁港 海岸施設災害復旧工事	羅賀	継続事業	土木工事	防潮堤 L=348.8m	1月
19	災害公営住宅整備事業(西和野地区)	菅窪	90日間	建築工事	公営住宅建設 2棟	1月
20	黒沢山団地集会所建築工事	田野畑	60日間	建築工事	建築200㎡前後 木造平屋	2月
21	白池峠団地集会所建築工事	切牛	60日間	建築工事	建築200㎡前後 木造平屋	2月
22	村道和野平井賀線改良舗装工事	和野	60日間	土木工事	L=1,200m	2月
23	村道田野畑平井賀線道路改良工事	羅賀	60日間	土木工事	道路改良 500m	2月
24	防災まちづくり拠点施設等整備工事	菅窪	60日間	建築工事	本館、鉄骨造2階建 750㎡	2月
25	島越地区集落排水施設川向浄化槽整備工事	松前沢	60日間	土木工事	浄化槽1基等	2月
26	羅賀地区集落排水施設平井賀浄化槽整備工事	羅賀	60日間	土木工事	浄化槽1基等	2月
27	島越地区集落排水施設沢村浄化槽整備工事	島越	60日間	土木工事	浄化槽1基等	2月
28	島越地区集落排水施設上村浄化槽整備工事	島越	60日間	土木工事	浄化槽1基等	2月
29	村道和野平井賀線道路改良舗装工事	和野	60日間	土木工事	改良舗装工事 L=300m	2月
30	明戸川河口導流堤(右岸)整備工事	明戸	30日間	土木工事	導流堤右岸側 L=50m	3月
31	村道上川原線漁業集落道整備工事	羅賀	30日間	土木工事	漁業集落道 L=340m	3月
32	平井賀漁港(平井賀地区)施設機能強化事業船置場整備工事	羅賀	30日間	土木工事	船置場 L=60m	3月
33	島越漁港地区水産飲雑用水施設(切牛浄水系)導水管 管路布設工事	切牛	30日間	水道施設工事	φ100 L=700m 1式	3月
34	平井賀漁港(羅賀地区)漁港環境施設整備工事	羅賀	30日間	土木工事	消波堤他施設整備 1式	3月
35	平井賀漁港(平井賀地区)施設機能強化事業船揚場整備工事	羅賀	30日間	土木工事	船揚場 L=40m	3月
36	村道北山崎線改良舗装工事	北山	30日間	土木工事	改良舗装工事 L=480m	3月
37	村道明戸北山線改良舗装工事	北山	30日間	土木工事	改良舗装工事 L=1,820m	3月
38	村道長嶺線改良舗装工事	巢合	30日間	土木工事	改良舗装工事 L=1,670m	3月
39	村道平井賀線漁業集落道整備工事	羅賀	30日間	土木工事	漁業集落道 L=530m	3月
40	村道羅賀平井賀線漁業集落道整備工事	羅賀	30日間	土木工事	漁業集落道 L=730m	3月
41	災害公営住宅買取事業(羅賀地区田野畑野場)	田野畑	30日間	建築工事	公営住宅建設 21棟	3月



佐々木 泉慧^{いさと}くん (1歳2カ月)
賢司さん・華恵さん=猿山=

お母さんからのひとこと

絵本と手遊び歌が大好き。歌が聞こえると手をたたいて喜んでいます。3人きょうだいで一番のきかん坊。とにかく、けがをしないで健康に育ててね。



わが家のアイドル掲載募集中

成長の記念に、広報たのはたにお子さんの写真を掲載しませんか。対象は村内に住所がある1歳～2歳くらいの子ども。かわいい笑顔で、村の皆さんに元気を届けてください。掲載を希望する人は、役場政策推進課広報担当 (☎34-2111 内線62)まで連絡をお願いします。後日、撮影に伺います。希望者が多い場合は、初掲載の子どもを優先します。



編集ごぼれ話

今年も残すところ1カ月になりました。だんだん寒さが厳しくなってきましたね。皆さん、インフルエンザの予防接種は受けましたか？ 冬用タイヤへの交換は済みましたか？ インフルエンザが流行してから慌てないように、雪が降ってから後悔しないように、早め早めの対策を心掛けましょう▼菅窪地区の佐々木規子さんから、変わったダイコンが採れたとの連絡。さっそくカメラを手に向かうと：



この紙面では言葉で表現できないような珍ダイコン。しかも2本(この場合、何本と数えるべきか…)▼今月は久しぶりに企画ものに挑戦。民泊を取り上げてみました。やっぱり、取材先で皆さんと話すのは楽しいなと再確認です。(政策推進課 佐々木和也)